議会だより

ひがし

No.28 2016年 10月6日

〒739-1751 広島市安佐北区深川2丁目51-20 電話 082-843-5403 FAX 082-841-4870 メールアドレス y-higashi@mocha.ocn.ne.jp ブログ ヤフー・ブログ 東 保幸 検索

リンク: http://www.mgr.co.jp/higashi/

<mark>この議会だよりは地域のこと、子育てや福祉、環境のことなど、今必要なことを</mark> 提言し、みなさまといっしょに考えていくために発行したものです。

出会いとつながりをモットーに活動する県議会議員です。

9月補正予算221億円余 災害復旧・減災対策と景気対策・ 社会福祉体制強化にとりくみます

9月定例会報告

2016年度9月定例会は9月20日から10月5日ま で16日間開催されました。6月補正予算後の状況 変化、「災害に強いまちづくり」や「地方創生」 に向けた取組を進めるため総額222億円余の補 正予算を決定しました。これにより今年度の一般会 計総額は1兆15億1700万円余となりました。 予算編成のポイントは、

(1) 災害に強いまちづくり【132億円】

6月の梅雨前線による大雨災害に被災した 地域の早期復旧に取組む(47億9500万 円)、災害から生命・財産を守るための砂防ダ ム、道路のり面整備など防災・減災対策の実施 (83億4800万円)、園児の安全・安心を確 保するため、私立幼稚園や私立保育所等の耐震 診断(3200万円)、対震工事費は2年間で 3億8000万円。

(2) 地方創生【24億円】

①新たな経済成長―外国人観光客の誘客の 重点市場である台湾でのプロモーション展開 (900万円)、新規の定期海外路線誘致 (1億6600万円)、県内農林水産業の経営 体質強化、競争力のある県産材の供給体制構築

(19億7800万円)

②安心の暮らしづくり一社会福祉法人の勤務環 境や経営体制の支援(1970万円)

あなたの身近で働いています

障がい者施設の整備および防犯対策の強化 (3億2700万円)

新しいタイプの高等学校整備推進事業の額の変更 (2億2000万円追加)

(3) 社会資本整備【55億円】

道路、河川、港湾、漁港、街路、農業基盤など の整備事業、漁場、造林などの事業 (55億円)

その他、財政調整基金積立(12億円)、マイ ナンバー接続テスト、美術館・縮景園の指定管理



9月22日 本会議で決算特別委員長選任あいさつ

(13億円)などを決定しました。

所属する民主県政会から的場議員(1期・福山市)、桑木議員(3期・三原)、内田議員(3期・福山市)が本会議で質問を行いました。人口減少社会への対応策、子どもの貧困、手話言語条例制定への考え方、主権者教育推進、河川管理、地球温暖化対策、高齢者施策等について問いただしました。詳細は議会HPをご覧下さい。

決算特別委員会設置

決算特別委員長に選任されました 県民福祉の向上に取り組みます

今次定例会で設置された「平成27年度決算特別 委員会」の委員長に選任されました。責任は重大 だと痛感しています。

10月4日から11月22日までの間、広島県歳入歳 出決算について委員16人からなる決算特別委員会 で審査を行います。財源の重点配分、経費の節 減・合理化、事業をさらに効率的かつ効果的に実 施されるように努め、審議結果を県勢発展・県民 福祉の向上に反映させていきます。

決議・意見書

決議「北朝鮮の核実験及びミサイル発射に抗議する決議」、意見書「私学助成の充実を求める意見書」「次期介護保険制度改正における福祉用具・住宅改修の見直しに関する意見書」「指定生乳生産者団体制度の存続と機能強化を求める意見書」を採択しました。

最近の経営環境に関する調査結果

本年8月、商工労働局が県内中小企業200社を対象(回答企業120社)に最近の景況感と今後の見通しについて調査しました。結果は以下の通りです。皆様の暮らし向きはいかがでしょうか。

◆最近の景況感◆

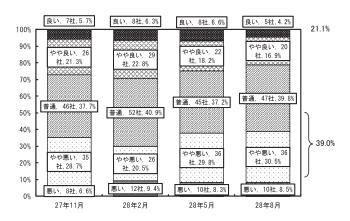
「良い」、「やや良い」と回答した企業は、



8月10日 知事に対して会派要望書を提出しました 21.1% (25社) となっており、前回調査 (28年5 月) より3.7ポイント減少している。

業種別に見ると、「良い」、「やや良い」の割合が、「卸売・小売業」、「鉄鋼・金属関連製造業」、「一般・電気機械製造業」、「不動産・サービス業」で約3割となっている。

一方で、「悪い」、「やや悪い」とする割合が、「その他製造業」で7割を、「木材・パルプ関連製造業」で6割を超えている。



◆今後の経営見通し◆

今後の経営見通しについては、「今の状況が続く」が74.2%(89社)と最も多い。

前回調査(28年5月)より「好転」と回答した 企業数は0.6ポイント減少し、「悪化」と回答し た企業数は3.7ポイント減少している。

業種別に見ると、「卸売・小売業」、「輸送用機械製造業」、「木材・パルプ関連製造業」等において、「好転する」と「悪化する」が同じ割合となっており、「情報通信・運輸業」等において「悪化する」と回答した割合が高い。

民主県政会9月補正要望提出

事業執行から半年が経過した9月議会前、知事に対して要望書を提出しました。所属する議員が県民の皆様から寄せられた地域の課題はじめ、県が直面している緊急を要する課題などを委員会ごとに取りまとめ、9月議会提案施策に反映させるためのものです。その主なものを紹介します。

民主県政会 要望と回答

要望項目 対応	
対応	
今年度6月の豪雨により被災した箇所の災害復旧事業等については、速やかに実施する。【総務・環境・農林・土木】 ・6月大雨災害に係る災害復旧・災害関連事業(公共事業) (H28.9補正予算額4,795,332千円)	
聴覚障害者に関する情報・意思疎通支援や相談支援等の拠点施設となる「広島県聴覚障害者センター」について、平成29年1月開所(予定)に向けて整備を進めている。 ・広島県聴覚障害者センター(仮称)整備事業 (H28当初予算額 81,486千円)	
私立学校施設の耐震化については、園児の安全・安心を確保するため、私立幼稚園の施設設置者が行う耐震診断、耐震工事に係る経費の一部を支援し、園舎の耐震化に緊急に取り組む。【環境】 ・私立幼稚園・保育所等耐震化緊急促進事業	
性被害ワンストップセンターひろしまの試行実施に当たっては、利用状況等実施内容を検証することとしており、この検証結果を踏まえ、支援員の確保や育成等に努めてまいりたい。【環境・健康】・性犯罪被害者等ワンストップ支援センター事業 (H28当初予算額 9,984千円)	
この制度は、対象者に対し包括的な相談支援体制を構築するものであり、支援メニューの充実が重要と認識している。 原因や課題を分析し、事業実施に向けての働きかけを強化していく。【健康】	
法人指導監査の指導・助言等を通じた横展開を図ることにより支援 を行っていくとともに、地域医療介護総合確保基金を活用した介護 現場の就業環境改善等の事業も実施していく。【健康】 ・社会福祉法人経営労務管理改善支援事業 (H28.9補正予算額 19,780千円)	
農業においては、就農準備中の者や新規就農から5年目までの農業者計166名を、今年度、農業技術指導所の普及指導計画に位置付け、生産技術や経営管理指導を行い早期定着を図っていく。 ・新規就農者育成交付金事業 (H28当初予算額 324,940千円) ・瀬戸内水産資源増大対策事業 (H28当初予算額 47,281千円)	

地産地消の推進を図るとともに、学校給食 給食施設等の実需者との連携による県産農産物の供給拡大などの取組を における県産食材の使用拡大に向けて取り 支援し、県産農林水産物の消費拡大に取り組む。【農林(教育)】 ・ひろしま地産地消推進事業(H28当初予算額 4.250千円) 組むこと。 ・ひろしま給食100万食プロジェクト (H28当初予算額 2,494千円) 漁業資源確保のため海砂採取跡地の海底調 豊かな瀬戸内の再生に向け、集中放流に加え、藻場・干潟等の育成 査を踏まえ、将来の豊かな瀬戸内海の漁場 環境の整備や小型魚の再放流など漁業者による資源管理を一体的に 再生に向けた対策を講じること。 行い、関係市町と連携して水産資源の増大を図る。【農林】 ·瀬戸内水産資源増大対策事業(H28当初予算額 47,281千円) (H28当初予算額 121,602千円) ・漁場環境保全創造事業 農業や住民の暮らしの安全を守るため、有 ·狩猟者育成事業 (H28当初予算額7,385千円) 害鳥獣対策に係わる, 捕獲規制の緩和なら 鳥獣の捕獲活動については、鳥獣被害防止総合対策交付金事業にお びに猟銃資格を取得するための補助や捕獲 いて、鳥獣害対策の充実強化に向け、国に対し要望する。 活動の補助金の拡充すること。 ・鳥獣害に強い集落等育成推進事業 (H28当初予算額150.529千円) 予測困難な局地的豪雨が頻発し、各地で大 「社会資本未来プラン」の改定に伴い策定した「ひろしま川づくり 実施計画2016 | 等に基づき、緊急度や重要度の高い箇所から計画 きな被害をもたらしていることから、河川 整備計画をはじめとする諸対策を着実に推 的に整備を進めるとともに、「災害に強い広島県」の実現に取り組 進すること。 む。【危機・土木】 空港アクセスについては、空港経営改革に関わらず県が主導して取 広島空港経営改革調査検討事業について は、空港アクセスについては、道路事情に り組む課題であり、アクセス道路網の整備やリムジンバス路線の充 左右されず定時性が確保される軌道系ア 実・拡大など利便性向上を図っていく中で、定時性に優れた軌道系 クセスの実現に向けた調査・検討をするこ アクセスを含む多様なアクセス手段の確保について、総合的な検討 と。 を進めていく。【土木】 府中町立中学校の進路指導時の生徒自殺案 生徒の人権に十分配慮した適切な環境下で進路指導を行うために、進 件は全国に向けて報道され、広島県での進 路相談を行う場所については、生徒が落ち着いて、自ら進んで話せる ような環境をつくることや、相談室以外の場所を利用する場合は、個 路指導や高校推薦入試制度に関する信頼感 別相談の内容を他人に聞かれるようなことがない場所で行うことに、 が大きく損なわれた。専願制度はじめ進路 指導の在り方を確認すること。 特に留意するよう指導している。【教育】入学者選抜については、ま ずは広島県公立中学校長会と連携し、実態の把握に努めているところ であり、必要に応じて適切に対応していく。【教育】 フレキシブル校の新設については、広島市 フレキシブルスクール (仮称) については、県と広島市が共同で平 と充分な連携のもと実施すること。 成30年4月の開校に向けた準備を進めているところである。 学校の教育目標や教育方針に関することなど、具体的な検討を行っ ているところであり、検討状況等については、適切なタイミングで 丁寧に説明させていただく。【教育】 信号機の新設や道路標識等の整備については、交通量や交通事故の 信号機の新設・道路標識等の整備に対する 予算の増額を行うこと。 発生状況など交通実態を踏まえ、緊急性・必要性が高い箇所から順 次計画的に進める。【警察】 · 交通安全施設整備費 (H28当初予算額 1,826,370千円) 「働き方改革」が県の主要施策となってお 正規雇用化に取り組む企業に対する国の助成金制度などについて、機

り. 広島県内企業働き方改革取組実態調査 結果に基づいた現場実態や、第4次県男女 共同参画基本計画に即した施策を実施する こと。

会を捉えて周知を図るほか、正規雇用への転換を行う企業への低利融 資の実施など、企業の正規雇用の拡大に向けた取組を促進している。

・「ひろしまジョブプラザ」運営事業

(H28当初予算額 22,649千円)

- ·預託制度運用費(労働支援融資)融資枠4億円
- ・働き方改革推進事業 (H28.2補正予算額 15,074千円)

あきらめない。歩みを止めない。広島のために。